ある日のこと、ザイドのお母さんが言いました：

「ザイド、金曜日に、ビラール君のおうちで夕食食べることになったわよ」

リーナとザイドは大喜びです：

「わーい！！やった、やったー！！」

ビラールも、金曜日のことがすっごく楽しみでした。学校で、ザイドに会うと、ビラールは言いました：

「最初、夕食食べるでしょ、その後で、ずーーっとゲームするんだ！楽しみだな～！」

「そうそう！あのカアバのゲーム！絶対、遊ぼうね！」

二人は次の日のことが楽しみでたまりません。

ついに金曜日が来ました。ザイドのお父さんがザイドをファジュルに起すと、ザイドは飛び起きました。

ザイドとリーナは学校に行きました。おうちでは、赤ちゃんのユースフまで楽しそうです。

学校から帰ったあと、リーナとザイドはお出かけの準備を始めました。

お父さんが聞きました：

「もう、準備できたか～？」

ザイドとリーナは下へ駆け下りていきました。

そして、みんな、一緒にお出かけのドゥアーを行ってから、家を出ました。

みんなも、一緒にドゥアーを言ってみましょう！

【ドゥアー】

そして、車に乗りました。

車に乗ってすぐ、みんなで乗り物に乗るときのドゥアーを言います。

みんなも、一緒に言ってみましょう！

【ドゥアー】

車は出発し、ついに、ビラールのおうちに着きました！

ザイドがすぐに呼び鈴を押しに走りました。

ビラールがドアを開けました。

「アッサラーム　アライクム！」

ビラールが挨拶すると、

「ワアライクムッサラーム！！」

ザイドの家族が答えました。

子どもたちはさっそく、「遊ぼう、遊ぼう！」と大騒ぎです。

みんな、とっても嬉しそうです。

しばらくして、夕食の準備ができました。

ビラールのお母さんが言いました。

「子供たち、もう夕食にするから、手を洗ってきてね！」

「はーい！！」

子供たちはみんな揃って手を洗いに行きました。

みんな、夕食を食べる準備ができました。

ザイドは腹ペコです！

ビラールのお母さんが言いました。

「みんな、食べる前のドゥアーを忘れずに言いましょうね！」

みんなで一緒に言ってみましょう。

【ドゥアー】

食事中、ザイドがふざけ始めました。

お皿からマッシュポテトをとって、ビラールの鼻につけたのです！

二人ともくすくす笑っています。

ビラールも同じことをやり返そうとして、ついに、ビラールのお父さんのお水をこぼしてしまいました！

二人とも、黙り込みました。

ザイドのお母さんが言いました。

「食べ物で遊んだらダメでしょう」

ザイドとビラールは、お水をきちんと片づけて、言いました。

「ごめんなさい、もうこれから、気をつけます。」

リーナは、ジュースを一気に飲みたがっていました。

そして、左手に持って飲んでいます。

すると、お父さんがやさしく言いました。

「預言者様（ｻｯﾗｯﾗｰﾌ　ｱﾗｲﾋ　ﾜｻｯﾗﾑ）は、飲み物を３回以上に分けて、少しずつ飲むことと、左手ではなくて、右手で飲むように、と教えてくださったんだよ。」

リーナは、コップを右手に持ち替えて、少しずつ分けて飲みました。

食べ終わったあと、みんなで、食事の後のドゥアーを言いました。

みんなで一緒に言ってみましょう。

【ドゥアー】

ザイドはにっこり笑って、ビラールのお母さんに言いました。

「おいしいご飯をありがとうございました。ジャザークムッラーフ　ハイラン！」

ビラールのお母さんが返事をしました。

「ワイイヤークム、ザイド。来てくれてとってもうれしかったわ。」

食事の後、お母さんたちが食事の後片付けをしているのを見て、子供たちも一緒にお手伝いをしました。

その後、またしばらく遊んで、帰る時間になりました。

ザイドのお父さんが子供たちを呼びました。

「もう、帰るよ！準備して。」

ザイドたちは、本当は帰りたくなかったけれど、お父さん、お母さんの言うことを聞くことが大事だとわかっていたので、きちんと帰り支度を始めました。

ザイドの家族は言いました：

「ジャザークムッラーフ　ハイラン！今日は本当にありがとう」

ビラールの家族も言いました：

「ワイイヤークム！」

そして、サラームをして別れました。

「アッサラーム　アライクム」

「ワアライクムッサラーム！」